

第11回 IAAF世界陸上競技選手権大阪大会 [80円郵便切手]

◎世界陸上競技選手権について

1983年にヘルシンキ(フィンランド)で初めて開催され、最初は4年に1度、1991年の東京大会以降は2年に1度、「真の陸上世界」を目指す舞台として注目を浴びてきました。

今や世界陸上は、オリンピック、FIFAワールドカップ™と並ぶ「世界3大スポーツイベント」の一つとして数えられています。2007年大阪大会では、世界212の国と地域から約3,200人の選手・役員が参加し、世界中の190の国と地域で放映され、延べ65億人の人々がその熱い戦いに注目すると見込まれています。

◎デザイン

【為末 大】

400mハードル。プロ選手。2005年世界陸上ヘルシンキ大会、銅メダル。

【金丸 祐三】

400m。世界陸上2005年出場。2006年アジア大会4位。

【福士 加代子】

長距離。5,000m日本記録保持者。2006年アジア大会、金メダル。

【醍醐 直幸】

走高跳。日本記録保持者。2006年アジア大会、銅メダル。

【澤野 大地】

棒高跳。日本記録保持者。2006年アジア大会、金メダル。

【池田 久美子】

走幅跳。日本記録保持者。2006年アジア大会、金メダル。

【末續 慎吾】

短距離。200mアジア記録・日本記録保持者。2003年世界陸上パリ大会、銅メダル。

【内藤 真人】

110mハードル。世界陸上2001年、2003年、2005年出場。2006年アジア大会、銅メダル。

【成迫 健児】

400mハードル。世界陸上2005年出場。2006年アジア大会、金メダル。

【室伏 広治】

ハンマー投。アジア記録・日本記録保持者。2003年世界陸上パリ大会、銅メダル。2004年アテネオリンピック、金メダル。

第11回 IAAF世界陸上競技選手権大阪大会 特殊通信日付印

使用局:

- (A) 定例局
- (B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

使用日:

- (A) 平成19年8月23日(木)~29日(水)
- (B) 平成19年8月23日(木)のみ



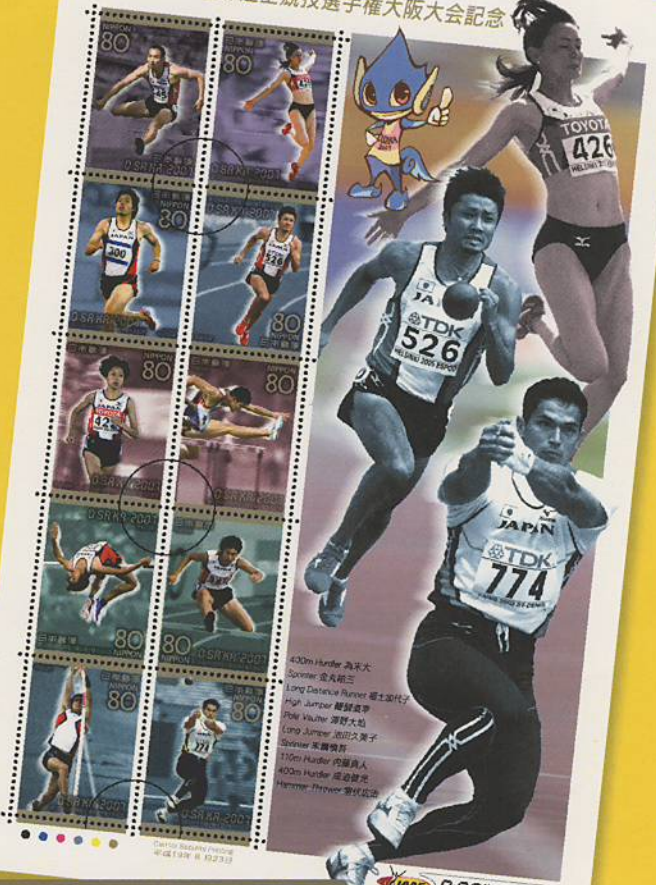
(A) 手押し用



(B) 記念押印機用

第11回 IAAF世界陸上競技選手権大阪大会

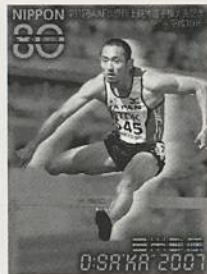
第11回 IAAF世界陸上競技選手権大阪大会記念



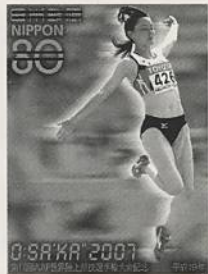
発行日:平成19(2007)年8月23日(木)

<http://www.kitte-design.net/>

第11回 IAAF
世界陸上競技選手権
大阪大会



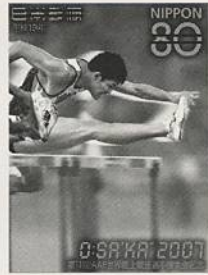
[1]



[6]



[3]



[8]



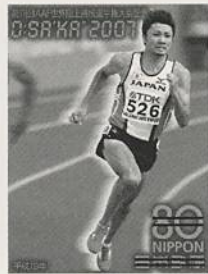
[4]



[9]



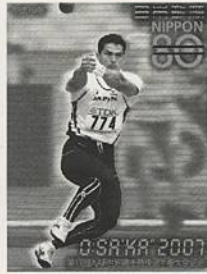
[2]



[7]



[5]



[10]

種類:80円郵便切手 ※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠:[1] 為末 大(ためすえだい) [2] 金丸 祐三(かねまる ゆうぞう) [3] 福士 加代子(ふくしかよこ)
[4] 醍醐 直幸(だいご なおゆき) [5] 澤野 大地(さわの だいち) [6] 池田 久美子(いけだ くみこ)
[7] 末續 慎吾(すえつぐ しんご) [8] 内藤 真人(ないとう まさと) [9] 成迫 健児(なりさき けんじ)
[10] 室伏 広治(むろひろこうじ)

発行日:平成19(2007)年8月23日(木)

版式刷色:オフセット6色

印面寸法:縦36.5mm×横25.0mm

小切れ寸法:縦36.5mm×横28.05mm

シート寸法:縦212.5mm×横140.25mm

写真提供:

フォート・キシモト/[1][3][4][6][7][10]
アジャンシー・ショット/[2][5][8][9]

デザイン:玉木 明(たまきあきら・切手デザイナー)